

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	1 目	社 会 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		社会福祉協議会運営支援事業費				単位：円
事業内容	社会福祉活動の拠点である遠野市社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉活動の充実を図るとともに、ボランティア活動の促進及び住民ニーズに対応する事業推進を目的として、次の補助を行う。 ・社会福祉協議会運営補助 ・総合福祉センター管理運営補助 ・地域福祉ネットワーク補助 ・福祉団体活動費補助	計画値	補助予定額 29,495,000円 地域福祉等推進特別支援事業利用計画（ちょぼら） ・ボランティアサロン 2,285人 ・福祉相談窓口 573人			
	成果		社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画に基づき、地域福祉の着実な推進とボランティアの育成や福祉団体の活動支援に寄与した。 また、総合福祉センターの活用については、沿岸被災地後方支援活動拠点移設後においても、継続して市民ボランティア及び福祉団体等の活動拠点として管理運営されるとともに、地域のコミュニティ施設として効率的な活用が図られた。 さらに、ボランティア活動や市民交流の拠点、各種福祉相談窓口を設置した「ちょぼら」施設内に、専任の相談員1名を新たに配置したことにより、市民の多種多様な相談に対しきめ細やかな対応が可能となった。	実績値	補助交付額 32,350,000円 地域福祉等推進特別支援事業利用実績（ちょぼら） ・ボランティアサロン 2,381人 ・福祉相談窓口 2,859人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
32,350,000	32,350,000	2,725,000		200,000	29,425,000	

事業名		ふれあいプラザ運営事業費				単位：円
事業内容	地域社会福祉事業の総合的な発展向上を目的に、社会福祉団体等の事務所及び社会福祉活動の拠点施設として、ふれあいプラザを運営する。	計画値	ふれあいプラザを活動拠点として活用した社会福祉団体等の事務所数 4 団体			
	成果		社団法人遠野市シルバー人材センター、社会福祉法人遠野市保育協会、社会福祉法人睦会（障害者支援施設多賀の里）、遠野市身体障害者福祉協会の4団体が活動拠点として活用した。	実績値	・ふれあいプラザを活動拠点として活用した社会福祉団体等の事務所数 4 団体 ・地域交流スペースとしての利用者数 2,518人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,991,000	2,563,467			767,924	1,795,543	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	1 目	社 会 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		保健福祉センター増改築事業費				単位：円
事業内容	保健福祉センターは、平成6年の建設以後17年が経過し老朽化と組織再編により事務室が手狭になっているものを解消する。 また、市民の相談窓口として相談室を2室設置してサービスの強化を図る。 (1) 工事内容 ①事務室98.76㎡の増築 ②相談室2室新設 ③トイレ全般改修 ④ふれあいホーム薬研淵等にエアコンの設置 ⑤災害時における非常用電源の配線工事等 (2) 工期 平成23年11月7日～平成24年3月23日 (3) 事業費総額 59,012,747円				計画値	増改築事業費総額 63,632,000円
	成果	①事務室が広く、来客者にも安らぎを与えるような環境になった。 ②相談室(しゃべる一む・かたる一む)は受付窓口から入りやすい室となっており、各種相談等のため市民及び関係機関団体等の利用が増加している。 ③洋式トイレは母子から高齢者等に幅広く評判であり、流水音の設置により水道使用料が月額40,000円ほど減額になった。 ④ふれあいホーム薬研淵の利用者から好評であり施設環境が充実した ⑤災害時に停電した場合の非常用電源が確保できた。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
63,632,000	59,012,747	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	59,012,747

事業名		縁がつなぐ仮設住宅整備事業				単位：円
事業内容	東日本大震災による被災者のために、応急仮設住宅40戸、サポートセンター1戸を建設する。				計画値	応急仮設住宅 40戸 サポートセンター 1戸
	成果	災害救助法に基づき、県の委任を受けて応急仮設住宅40戸、サポートセンター1棟を建設した。 県内外から入居応募があり、平成23年8月末には全戸入居した。 サポートセンターには社会福祉協議会への委託による生活支援相談員が常駐し、市内全域の被災者のための拠点となり、継続的な支援を続けている。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
204,776,000	203,503,336	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	1 目	社 会 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		希望の郷「絆」サポートセンター管理運営事業費				単位：円
事業内容	<p>希望の郷「絆」仮設住宅団地内にサポート拠点を設置し、総合相談や地域交流等避難生活に必要な暮らしの情報提供、健康管理のサポートを実施する。</p> <p>遠野市社会福祉協議会の生活支援相談員5名が常駐し、遠野市と社会福祉協議会が連携してサポートセンターの運営を行う。</p>				計画値	
	成果	<p>広報誌（サポートセンターだより）の発行 16回 市内避難者の訪問相談等 のべ1,556人 地元自治会と連携した地域交流イベントの実施 （花火大会、クリスマス会、餅つき、追悼の会など）</p> <p>サポートセンターの生活支援相談員と地元自治会が連携した取組により、市内避難者と地域住民との交流が図られ、避難生活の不安の軽減につながった。</p>				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,970,000	1,224,360	1,224,000			360	

事業名		縁が結ぶ心あたたまる助成事業費				単位：円
事業内容	<p>冬季の経済的負担の軽減と地域経済の活性化を図ることを目的に灯油購入費等に係る助成券を交付するものである。今年度は、市内の高齢者、障害者等のいる市民税非課税世帯に加え、東日本大震災により沿岸被災地から本市に避難されている方へも交付した。</p> <p>【配布】1世帯当たり 助成券10,000円 【取扱店】市内で営業し、市と協定を締結した事業所 180店舗 【利用期間】平成24年1月13日～3月31日</p>				計画値	対象世帯 ・高齢者 1,721世帯 ・重度障害 154世帯 ・子育て 328世帯 ・避難世帯 212世帯 計 2,415世帯
	成果	<p>事業としては21年度を除き4年目でもあり、冬季の早い時期から助成を開始したことから、過去に比較して申請率、利用率共に上回っている。また、沿岸被災地からの避難者にも手渡しにより交付したので非常に好評であり支援の一助となった。</p>				実績値
予算額		決算額	財 源		内 訳	
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
26,050,000	22,160,358			2,000,000	20,160,358	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	1 目	社 会 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		災害救助費(繰越明許費)			単位：円	
事業内容	東日本大震災により現に被害を受け、又は受けるおそれのある者を救助し支援する事業費である。 ①避難所設置費 8,127,249円 ②応急仮設住宅設置費 1,737,056円 ③炊出しの給与費 3,871,130円 ④生活必需品の給与費 1,940,000円 ⑤埋葬費 746,074円 ⑥死体の処理費 68,655円 ⑦輸送費 1,199,856円 ⑧救助事務費 15,793,855円 ※災害救助費総額 33,483,875円			計画値	発災後、救助が必要な限り災害救助費予算の範囲内で執行するもの 総額 36,700,000円	
	成果	県から災害救助の項目別に委任された期間により、救助を必要とする者に対し、市民はもとより沿岸被災地への後方支援活動として全面的に市総合力によって支援することができた。 (1)避難所設置 市内56カ所・延べ8,175人避難 (2)仮設住宅の設置 40戸 (3)炊出し食による被災地支援 142,484個 (4)沿岸被災地からの避難世帯へ生活必需品購入商品券(10,000円)を配布 (5)市営火葬場 53遺体対応 (6)市公共施設を遺体安置所として設置 (7)沿岸被災地での消防関係車両による救急搬送等 (8)支援物資の保管等に係る事務費全般			実績値	災害救助費総額 33,483,875円
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
36,700,000	33,483,875	33,483,875				

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	2 目	障 害 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		重度心身障害者医療費給付事業費			単位：円	
事業内容	重度心身障害者に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 以下の対象者に対し、医療費の自己負担の一部を給付する。 (1)身体障害者手帳の交付を受けている者で、障害等級が1級または2級の者 (2)特別児童扶養手当の支給対象児童で障害の等級が1級に該当する者 (3)国民年金法の1級の障害基礎年金を支給されている者 (4)療育手帳A級を所持している者			計画値	対象者数 930人 1人当給付費 120,576円	
	成果	医療費の自己負担額から、医療機関毎に1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。 また、非課税世帯へは全額を給付し、福祉の増進を図った。 給付者の月平均は後期高齢者医療被保険者以外の者418人、後期高齢者医療被保険者495人、合計913人で、支給総額は104,208,790円となった。			実績値	対象者数 913人 1人当給付費 114,139円
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
113,958,000	106,010,295	44,044,774		14,591,195	47,374,326	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	2 目	障 害 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事 業 名		身体障害者3級医療費給付事業費				単位：円
事業内容	身体障害者手帳3級の所持者に対して医療費の一部を給付し、生活の安定を図るとともに、身体障害者の福祉の増進に資する。	計画値	対象者数 214人 1人当給付費 31,121円			
			実績値	給付者数 212人 1人当給付費 31,736円		
成果	対象者 212人に対して医療費自己負担の半額を給付し、健康保持と福祉の増進を図った。 支給総額は、6,728,098円。					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,300,000	7,274,563			652,984	6,621,579	

事 業 名		障害者自立支援介護給付費				単位：円
事業内容	<p>障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、自立支援給付費（介護給付費等）を支給する。また、身体障がい者が補装具を購入又は修理する費用を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援給付 <ul style="list-style-type: none"> 訪問系サービス：ホームヘルプ、短期入所等 日中活動系サービス：生活介護、就労継続支援等 居住系サービス：グループホーム、ケアホーム、施設入所支援 補装具費支給 	計画値	障がい者グループホーム数 7施設 自立支援給付 230人 補装具費 延べ 100人			
			実績値	障がい者グループホーム数 6施設 自立支援給付 243人 補装具費 延べ 108人		
成果	障害者自立支援法の趣旨に則り、各事業を実施したことにより障がい者福祉の向上を図った。					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
495,075,000	491,533,321	353,481,849		85,200	137,966,272	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	2 目	障 害 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		福祉タクシー事業費				単位：円	
事業内容	<p>重度障がい者等に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、社会参加の促進及び通院等の日常生活における移動の支援を図るため、福祉タクシー助成券（初乗り料金分 580円）を、月2枚交付する。</p> <p>対象者は、①身体障害者手帳1・2級 ②療育手帳A ③精神障害者保健福祉手帳1級の者。ただし、施設入所者や自動車税の減免を受けている者は除く。</p> <p>契約事業者は、遠野交通、まるきタクシー、宮守交通の3社。</p>	計画値	利用人数	280人	実績値	利用人数	280人
			交付枚数	6,720枚		交付枚数	5,790枚
			使用枚数	5,700枚		使用枚数	4,374枚
成果	<p>社会参加や通院等に福祉タクシー助成券が利用されており、障がい者福祉の向上に寄与した。</p>						
予算額	決算額	財 源 内 訳					
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源		
3,416,000	2,635,672				2,635,672		

事業名		障害者自立支援特別対策事業費				単位：円	
事業内容	<p>障がい者及び障がい児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害者支援施設や障害福祉サービス事業所が行う支援事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>①通所サービス等利用促進事業 ②新事業移行促進事業 ③事業運営安定化事業 ④移行時運営安定化事業 など</p>	計画値	・通所サービス	3施設	実績値	・通所サービス	3施設
			・新事業移行促進	9施設		・新事業移行促進	9施設
			・事業運営安定化	7施設		・事業運営安定化	6施設
			・移行時運営安定化	9施設		・移行時運営安定化	2施設
成果	<p>障害者支援施設や障害福祉サービス事業所に適正に補助金を交付することにより、通所サービスの利用促進、事業所等の運営の安定化に寄与し、もって障がい者及び障がい児の自立した生活を支援することができた。</p>						
予算額	決算額	財 源 内 訳					
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源		
26,736,000	22,386,625	17,846,390			4,540,235		

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		老人保護措置費			単位：円	
事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者で身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方の福祉の向上を図るため、養護老人ホームに措置入所させる。措置入所は養護老人ホーム長寿の森吉祥園（社会福祉法人とおの松寿会）のほか、他市町村の養護老人ホームにも委託している。また、要援護高齢者への家族の虐待などの事実が判明した場合など、高齢者を緊急に保護する必要がある時には、介護保険法を適用せず、老人福祉法により特別養護老人ホームに入所させることも可能である。	計画値	入所者数	55人		
	成果		入所判定委員会を開催し、養護老人ホーム入所の要否の判定を行うほか、居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームに入所措置し、当該高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を図った。	入所者数	55人	
	▽入所状況(平成24年3月末現在の入所措置者数は55人)	実績値				
	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム長寿の森吉祥園（遠野市） 45人 ・養護老人ホーム宝寿荘（花巻市） 2人 ・養護老人ホーム祥風苑（大船渡市） 6人 ・養護老人ホーム北星荘（北上市） 1人 ・養護老人ホーム寿水荘（奥州市） 1人 					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
122,618,000	121,635,024			19,286,618	102,348,406	

事業名		シルバー人材センター運営事業費			単位：円	
事業内容	高齢者就業機会確保事業費等補助金（シルバー人材センター事業）に係る事業執行方針(厚生労働省)に則り、遠野市シルバー人材センター運営事業費を補助する。	計画値	運営事業費補助額	10,800,000円		
	成果		会員数	350人		
	遠野市シルバー人材センターの活動による就業を通して、高齢者の生きがいづくりや健康の保持増進につながっていた。企画提案事業の椎茸栽培事業では、収穫販売に加えて、高齢者世帯の見守り活動としてホダ木を贈呈し、見守りと交流を図った。	実績値	就業延べ人数	20,000人		
	また、清掃・除草・剪定などのボランティア活動も定着しており、地域に密着した活動として大きな役割を果たし地域に貢献した。		配分金総額	73,200,000円		
			就業率	100%		
			運営事業費補助額	10,800,000円		
			会員数	314人		
			就業延べ人数	17,432人		
			配分金総額	56,603,000円		
			就業率	100%		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
10,800,000	10,800,000				10,800,000	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		高齢者慶祝事業費				単位：円
事業内容	75歳以上の高齢者を対象として各地区で行われる敬老会開催を支援するとともに、喜寿、米寿、100歳到達者を対象に記念品を贈る。敬老会は社会福祉協議会支部等が主催し、市は参加者数に応じて負担金を支払う。合同金婚式は、平成19年度から実行委員会方式により実施している。	計画値	敬老会参加者数 2,500人 金婚式実施回数 1回			
	喜寿、米寿、100歳到達高齢者等の対象者に記念品を贈り、また、地域で開催される75歳以上の高齢者を対象とした敬老会の運営に対する助成を行い長寿を祝った。地域を中心として行われる大きな行事の一つであり、高齢者が一同に揃う数少ない機会でもあり、事業の効果は大きかった。結婚50年を迎えた夫婦を祝福する合同金婚式は、同じ時代を過ごしてきた夫婦が集まり、これまでの人生を振り返り、これからも二人で支え合いながら健康長寿を願う機会となった。		実績値	敬老会参加者数 2,129人 金婚式実施回数 1回		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,053,000	2,620,432				2,620,432	

事業名		介護保険サービス利用者支援事業費				単位：円
事業内容	介護保険サービスを利用する低所得者が、通常10%の利用者負担で利用抑制されないように、国の特別対策と市の独自対策を含めて利用者負担の4.5%を軽減し、5.5%の負担とすることで低所得者のサービス利用を促進する。 ・対象サービス（社会福祉法人が実施するサービス） …訪問介護（予防）、通所介護（予防）、短期入所生活介護（予防）、訪問看護（予防）、訪問入浴介護（予防）	計画値	利用対象者延人数 256人			
	介護を要する状態となっても可能な限り自宅で自立した日常生活を営めるようにすることが介護保険の制度目的のひとつである。従って、必要な介護サービスを総合的、一体的に提供するために、サービス利用時の10%負担によって利用が抑制されないよう、軽減対策を取り入れた当事業の目的と効果が反映され、低所得者のサービス利用が大きく図られた。		実績値	利用対象者延人数 232人		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,307,000	4,811,139	1,381,000			3,430,139	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		生活支援ハウス運営事業費			単位：円	
事業内容	60歳以上の一人暮らしや、夫婦のみの世帯、家族による援助を受けることが困難など、高齢等のため独立して生活することに不安のある方が生活支援ハウス長寿園（介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供する施設）に一時的に入所し、各種相談・助言、緊急時の対応を行う。必要に応じ介護保険在宅サービスや保健福祉サービスの利用手続きの援助を行うことなどにより、退所後も在宅において安心した生活が送れるよう支援する。 長寿園は、社会福祉法人とおの松寿会が経営する「特別養護老人ホーム遠野長寿の郷」内にあり、運営を委託している。			計画値	利用者延べ人数 84人 利用延べ日数 2,600日	
	成果	冬期間や退院直後の体調不良等、在宅生活が困難となる高齢者等に生活の場を一時的に提供することで、退所後、住み慣れた地域で継続して生活することができた。			実績値	利用者延べ人数 67人 利用延べ日数 1,716日
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,583,000	9,462,597				160,966	9,301,631

事業名		高齢者在宅福祉事業費			単位：円	
事業内容	高齢者が長年住み慣れた地域社会で、できるだけ長く自立した生活を送れるよう集いの場を提供し、生きがいづくりや健康づくりの推進、認知症予防や寝たきり防止のための指導を行う。 また、在宅生活を支援するためのサービスや日常生活用具の貸与や給付を行う。 ・ふれあい・いきいきサロン事業補助 ・生きがい活動支援通所事業 ・軽度生活援助事業 ・緊急通報装置の貸与 ・火災警報器 ・外出支援サービス事業 ・生活管理指導短期宿泊事業 ・電磁調理器 ・自動消火器の給付 など			計画値	ふれあい・いきいきサロン 27団体 386回 生きがい活動 6,500人 外出支援サービス 1,850回 軽度生活援助 3,225時間 短期宿泊サービス 350日 緊急通報装置 60台 電磁調理器 5台 火災警報器 10個 自動消火器 10個	
	成果	高齢者が長年住み慣れた地域社会での生活をできるだけ長く継続できるよう事業を実施した。 ふれあい・いきいきサロンや生きがい活動支援通所事業に参加することにより、高齢者の貴重な交流等の機会となっている。 寝たきり等で病院受診が困難な高齢者に外出支援サービスを提供することにより、外出時の負担を軽減している。 加齢による身体機能の低下等で、除雪や食材確保等日常生活に支障のある高齢者世帯に軽度の生活援助を行っている。 生活管理指導短期宿泊事業により、体調不良等で在宅生活が困難となった一人暮らし高齢者等が一時的に施設入所し、体調調整を図っている。 心疾患等を抱える高齢者世帯に緊急通報装置を貸与し、急病時等の通報ができるようにしている。また、低所得の高齢者世帯に自動消火器等を給付している。			実績値	ふれあい・いきいきサロン 27団体 361回 生きがい活動 5,830人 外出支援サービス 1,814回 軽度生活援助 3,125時間 短期宿泊サービス 110日 緊急通報装置 22台 電磁調理器 1台 自動消火器 3本
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
39,503,000	37,213,158				4,345,800	32,867,358

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		地域が家族いつまでも元気ネットワーク整備交付金事業費（繰越明許費）			単位：円	
事業内容	「第四次遠野市高齢者福祉計画・第4期遠野市介護保険事業計画（ハートフルプラン2009）」（平成21～23年度）に基づき、介護を必要とする高齢者が、できる限り住み慣れた地域で生活できるよう地域密着型サービスの施設整備を図る。	計画値	認知症高齢者グループホーム 2施設			
			小規模多機能型居宅介護事業所 2施設			
成果	「第四次遠野市高齢者福祉計画・第4期遠野市介護保険事業計画（ハートフルプラン2009）」（平成21～23年度）に基づき、介護を必要とする高齢者が、できる限り住み慣れた地域で生活できるよう地域密着型サービスの施設整備を図った。（平成22年度繰越事業） ①認知症高齢者グループホーム…GHおらほの家（定員9人）、あお空GH青笹（定員9人） ②小規模多機能型居宅介護事業所…多機能ホームおらほの家（登録定員25人、うち宿泊定員7人）、あお空小規模多機能センター青笹（登録定員25人、うち宿泊定員7人） また、社会福祉法人ともり会は、特別養護老人ホームの増築により、ユニット型30床、ショートステイ4床を増床した。（県直接補助）	実績値	認知症高齢者グループホーム 2施設			
			小規模多機能型居宅介護事業所 2施設			
予算額	決算額	財 源		内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
107,000,000	107,000,000	105,000,000		2,000,000		

事業名		高齢者スポーツ大会費			単位：円	
事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。	計画値	大会数 5回			
			参加者数 1,500人			
成果	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 ・第6回ゲートボールペタンク大会（6月1日、276人参加） ・第6回さわやかスポーツ大会（7月25日、855人参加） ・第6回グランド・ゴルフ大会（8月26日、86人参加） ・第6回シルバー室内競技大会（3月2日、430人参加） （いきいきシルバースポーツ大会（県大会）は震災の為中止となった。）	実績値	大会数 4回			
			参加者数 1,647人			
予算額	決算額	財 源		内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
569,000	528,710				528,710	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		老人クラブ育成指導費				単位：円
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。				計画値	単位クラブ数 69団体 事業回数 5回 会員数 3,170人
	成果	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 ・第43回岩手県老人クラブ大会参加（10月13日、20人参加） ・第6回シルバー文化祭（展示部門、11月5日～6日）作品437点 ・第6回シルバー文化祭（舞台部門、11月15日）参加者600人 ・「遠野今昔～山ひだに生きる（第6集）」発刊 ・リーダー研修会（1月11日）参加者205名 ・第6回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月15日）				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,007,000	2,959,401	1,927,000			1,032,401	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		こんにちは赤ちゃん奨励事業費				単位：円
事業内容	市内で出生する新生児の保護者に、誕生記念の写真立てを贈り、誕生のお祝いと次子誕生に向けた激励、郷土愛の醸成を図った。				計画値	対象者数 225人
	成果	平成24年3月までに、176人の新生児の保護者に記念品を贈った。 なお、遠野市わらすっこプランの一環として位置づけ、新生児宅を訪問する民生児童委員に贈呈をお願いしている。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
596,000	487,981			487,981		

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		遠野市保育協会運営事業費				単位：円
事業内容	<p>保育園の円滑な運営を図るには、保育の実施を委託している遠野市保育協会の円滑な運営が基本となることから、運営費を補助する。 保育サービスの向上を図るため、次の事業を委託する。</p> <p>1 障がい児保育事業 2 保育所地域活動事業 3 延長保育促進事業 4 一時保育促進事業 5 休日保育事業 6 地域子育て支援センター事業</p>	計画値	特別保育事業 5事業 地域子育て支援センター 1カ所			
	<p>運営費補助金の交付により、遠野市保育協会の円滑な運営が図られた。 特別保育事業及び子育て支援センター事業の委託により、保育サービス並びに在宅児童及び保護者の子育て支援の充実が図られた。</p> <p>・運営費補助金交付額 25,891,000円 ・特別保育事業及び子育て支援センター事業委託費 16,304,060円 ・平成22年度交付金及び補助金確定に伴う精算返還金 944,000円</p>		実績値	特別保育事業 5事業 地域子育て支援センター 1カ所		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
43,736,000	43,139,060	9,680,063			33,458,997	

事業名		障害児療育支援事業費				単位：円
事業内容	<p>心身の発達に遅れがある就学前の児童及びその心配がある児童に対し、心身機能を高め、社会的な自立生活を行うための支援の場として、適切な訓練指導や遊び等の提供を行い児童の心身の成長を促す。 また、専任の指導員による個別相談等を通じ、保護者の不安軽減と心の支援を図るほか、児童とその保護者同士が遠足や体験事業などの交流を深めることにより相互理解を図る。</p>	計画値	のびっこ教室 開催日数 80日 利用延べ人数 320人 ジャンプ教室 開催日数 43日 利用延べ人数 86人			
	<p>のびっこ教室及びジャンプ教室に計12名の登録があり、毎週活動を行った。 保育所などの集団生活から一時的に離れ、個別活動として適切な訓練指導や遊びなどを行ったことにより、入所当時から比較して心身機能が大きく向上した児童も見受けられた。 また、発達に心配のある児童及びその保護者に対し、適切な指導と相互交流を図り、児童と保護者への支援を行った。</p>		実績値	のびっこ教室 開催日数 80日 利用延べ人数 278人 ジャンプ教室 開催日数 43日 利用延べ人数 53人		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,198,000	3,107,745				3,107,745	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		のびのび子育て応援事業費				単位：円
事業内容	就学している障がい児が、放課後又は休校日に自宅に監護する者がいない等の理由により、市内の社会福祉事業所に通所（以下「日中一時支援事業」という）した際に伴う利用料の自己負担額を助成し、保護者の経済的負担を軽減すると共に、療育の支援を図る。	計画値	利用人数 8世帯8人			
			実績値	利用人数 6世帯6人		
成果	日中一時支援事業利用児童の保護者に対して助成したことにより、経済的負担の軽減が図られた。このことにより、日中一時支援事業がより認知され、児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実が図られた。 利用児童数 6人6世帯 事業実施事業者 社会福祉法人 睦会 事業実施施設 知的障がい者授産施設石上の園 花巻清風支援学校遠野分教室	実績値		利用人数 6世帯6人		
			予算額	決算額	財 源 内 訳	
国県支出金	地 方 債	そ の 他			一般財源	
1,152,000	342,500				342,500	

事業名		看護保育安心サポート事業費				単位：円
事業内容	子どもの権利の保障を目的に、子育て環境整備の一環として整備した「遠野市病児等保育施設 わらっぺホーム」の運営を遠野市保育協会へ委託し、就労と子育ての両立を支援するとともに、児童の健全育成及び資質の向上に寄与するため実施する。	計画値	開設日数 242日 登録者数 150人 利用者数 300人			
			実績値	開設日数 242日 登録者数 188人 利用者数 508人 (実数 129人) 利用者の年齢 0歳から10歳		
成果	開所から2年目となり、登録者は188人、年間利用者数延べ508人（1日平均2.09人）の利用があり、子育て中の家庭に対して就労と子育ての両立を支援することができた。	実績値		開設日数 242日 登録者数 188人 利用者数 508人 (実数 129人) 利用者の年齢 0歳から10歳		
			予算額	決算額	財 源 内 訳	
国県支出金	地 方 債	そ の 他			一般財源	
12,674,000	11,730,228	5,766,666		906,000	5,057,562	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		わらすっこプラン推進事業費				単位：円
事業内容	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。</p> <p>1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業</p>				計画値	<p>1 条例の普及啓発イベント開催 2 わらすっこ基金助成金事業件数 3 団体 3 わらすっこ基金の管理</p>
	成果	<p>1 わらすっこ条例を通じて、子どもの権利保障について普及啓発を行うため、「北東北病児保育室交流会」及び「いわてこどもの心研究懇話会地域交流セミナーin遠野」を開催した。</p> <p>2 わらすっこ支援委員会では、わらすっこプラン事業の承認、評価について協議したほか、基金助成金事業の申請があった1件を審査し、計150,000円の交付を決定した。</p> <p>3 わらすっこ基金への寄附金9件 780,000円と、運用利子13,717円の合計793,717円をわらすっこ基金へ積み立てた。</p>				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,399,000	3,252,396			1,409,717	1,842,679	

事業名		青少年健全育成活動事業費				単位：円
事業内容	<p>青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。</p>				計画値	<p>少年委員活動回数 延 1,080回</p>
	成果	<p>少年委員を市内全部で88人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、合同補導を実施した。補導日数は215日であった。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。 なお、冬期間の活動を休止した地区があったため、計画より活動回数が下回ったことから、今回は計画値を見直すこととする。</p>				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,615,000	3,176,826				3,176,826	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	2 目	児 童 措 置 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事 業 名		小学生医療費給付事業費				単位：円
事業内容	市内に在住する小学生と、市内在住者に養育される小学生の医療医の一部を給付することで、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図り、小学生の福祉の増進に資する。	計画値	対象者数 1,020人 1人当給付費 6,394円			
			実績値	給付者数 1,014人 1人当給付費 5,610円		
成果	対象者 1,014人に対して医療費の自己負担額の2分の1を給付し、小学生の健康保持と福祉の増進を図った。 支給総額は、5,688,787円。					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,883,000	6,667,661				6,667,661	

事 業 名		保育所運営委託事業費				単位：円
事業内容	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合、保護者からの申込みにより保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。 実施方法については、社会福祉法人遠野市保育協会等への委託による実施となっている。	計画値	開所延日数 2,930日 就所定員延児童数 8,880人			
			実績値	開所延日数 2,936日 就所延児童数 8,987人		
成果	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる児童の保育を実施することにより、保護者や同居の親族が安心して仕事や病気の回復等に専念できた。 平成23年度末入所人員 ・乳児 91人 ・1～2歳児 252人 ・3歳児 128人 ・4歳児以上 305人					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
715,617,000	712,970,720	365,911,905		105,401,210	241,657,605	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	2 目	児 童 措 置 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		児童扶養手当給付費				単位：円
事業内容	児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当を父又は母等に支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与する。				計画値	新規申請者 40人 資格喪失者 30人 年間支給延べ人数 3,348人
	成果	支給要件に該当する児童を養育している父、母、養育者に対して児童扶養手当を支給するとともに、市広報により児童扶養手当制度の周知を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与し、福祉の拡充を図った。 平成23年度末受給資格者 320人 ・全部支給者 133人 ・一部支給者 157人 ・全部停止者 30人				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
133,795,000	133,006,843	43,927,333			89,079,510	

事業名		子育て環境育成事業費				単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料又は企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成する。このことにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境の充実及び、地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。				計画値	ベビーホーム入所児童保育料助成 35名 企業内託児施設助成 1施設
	成果	認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料又は企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成することにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減が図られ、保護者等の子育て支援が図られた。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,976,000	1,655,000				1,655,000	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	2 目	児 童 措 置 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		ひとり親家庭医療費給付事業費				単位：円
事業内容	母子等に対し医療費の一部を給付し、ひとり親家庭の健康保持と福祉の増進を図る。 母子及び寡婦福祉法に定める配偶者のない女子で、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を扶養している者、及びその者の扶養を受けている児童と、母子及び寡婦福祉法附則に定める父母のいない児童に加え、平成22年10月からは父子家庭も対象とし、医療費の自己負担分の一部を助成する。	計 画 値	対象者数	728人		
	1人当給付費		20,067円			
成果	医療費の自己負担額から、1医療機関毎1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。 また、非課税世帯へは自己負担額の全額を給付し、福祉の増進を図った。 給付対象者は月平均685人で、支給総額は9,852,413円となった。	実 績 値	対象者数	685人		
	1人当給付費		14,383円			
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
14,981,000	10,126,711	4,443,972		256,652	5,426,087	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	3 目	母 子 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		乳児等医療費給付事業費				単位：円
事業内容	乳幼児、妊産婦に対して医療費の一部を給付し、適正な医療を確保することにより、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図り、乳幼児、妊産婦の福祉の増進に資する。 乳幼児は出生から6歳に達する日以後の最初の3月31日までの者、妊産婦については妊娠5カ月に達する日の属する月の初日から出産した日の属する月の翌月の末日までの者を対象とし、医療費の自己負担の一部を給付する。	計 画 値	対象者	1,270人		
	1人当給付費		22,779円			
成果	医療費の自己負担額から、医療機関毎に1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。また3歳未満、非課税世帯へは全額を給付し、福祉の増進を図った。 給付対象者は乳幼児は月平均1,075人、妊産婦は月平均81人、支給総額は、乳幼児14,229,013円、妊産婦5,608,099円となった。	実 績 値	対象者	1,156人		
	1人当給付費		17,160円			
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
29,686,000	20,702,430	8,772,655		1,463,188	10,466,587	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	3 目	母 子 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		寡婦等医療費給付事業				単位：円
事業内容	<p>寡婦等に対して医療費の一部を給付し、寡婦家庭の健康保持と福祉の増進を図る。 母子及び寡婦福祉法に規定する寡婦のうち69歳までの者、または、児童が18歳に達した以後に配偶者のない女子になった69歳までの者を対象に、医療費の自己負担分を給付する。</p>	計画値	対象者数 220人 1人当給付費 42,045円			
			成果	<p>対象者 218人に対して医療費の自己負担分を給付し、寡婦等の健康保持と福祉の増進を図った。 支給総額は、9,929,097円。</p>	実績値	給付者数 218人 1人当給付費 45,546円
予算額	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
10,316,000	10,296,040					10,296,040

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	4 目	児 童 福 祉 施 設 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		児童館運営事業費				単位：円
事業内容	<p>両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行なうとともに、健全な遊びを通して児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p>	計画値	児童館 6カ所 児童クラブ 5カ所 利用延べ人数 135,250人			
			成果	<p>両親が昼間家庭にいない児童の学童保育を行い、児童に健全な遊びの指導や提供を行なうことにより、児童の健康を増進し、豊かな情操を育むなど、児童の健全育成を図った。 計画値は達成できなかったが、全体の利用延べ人数は4,099人の増（対前年度比3.2%増）となった。</p>	実績値	児童館 6カ所 児童クラブ 5カ所 利用延べ人数 132,554人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
106,021,000	106,021,000	21,653,000				84,368,000

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	5 目	保 育 所 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------

事業名		保育所運営事業費				単位：円
事業内容	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合、保護者からの申込みにより、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。				計画値	市立保育所数 3カ所 開所延日数 879日 就所定員延児童数 1,260人
	成果	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる児童の保育を実施することにより、保護者や同居の親族が安心して仕事や病気の回復等に専念することができた。				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
56,116,000	55,140,549			14,355,100	40,785,449	

事業名		子育て支援環境整備事業費				単位：円
事業内容	保護者等に代わって児童の保育を実施している、各市立保育施設の修繕工事や老朽化した物品の更新を実施し、より健全な保育環境を整備する。				計画値	市立保育所数 3カ所 市立3園園庭遊具取替 修繕工事 1件 園児用椅子及び機の購入 1件
	成果	各市立保育施設において、修繕工事や老朽化した物品の更新を実施し、児童のための健全な保育環境を整備した。 (1) 修繕工事 ・園庭遊具取替修繕工事 3,307,500円 ・鱒沢保育所屋根塗装工事 外5件 2,889,600円 (2) 備品購入 ・園児用椅子及び机 966,000円 ・給食調理用オープン 外3件 501,030円				実績値
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
7,715,000	7,664,130			1,400,000	6,264,130	

3 款	民 生 費	3 項	生 活 保 護 費	2 目	扶 助 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-------

事業名		生活保護費				単位：円
事業内容	1 申請、廃止状況等（平成24年3月末現在） ①申請件数 32件（うち認定件数27件） ②廃止件数 24件（うち死亡件数10件） ③被保護者世帯数 232世帯（被保護人員319人） 2 各扶助費受給状況（平成24年3月末現在実数） ①生活扶助 275人 ②住宅扶助 168世帯 ③教育扶助 17人 ④介護扶助 40人 ⑤医療扶助 213人 ⑥保護施設事務費 6人	計画値	1	被保護世帯数	226世帯	
	2		被保護人員	307人		
成果	平成23年度の生活保護に関する相談実件数は50件であった。その中でも高齢者世帯や稼働年齢層にありながら傷病や失業により就労できない者からの相談が多い。保護開始件数は27件であり、生活保護法に基づき生活に困窮する者に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障することに努めた。自立助長については、廃止件数24件のうち就労開始に伴う自立2件、年金受給指導に伴う収入の増加2件、扶養義務者との関係調整による引取り1件、施設入所3件であり、生活保護制度の適正実施に努めた。	実績値	3	訪問調査活動	1,172件	
			1	被保護世帯数	232世帯	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
432,900,000	432,833,405	327,534,637		2,046,188	103,252,580	